

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

よこすか Discovery

ディスカバリー

第22回 三浦半島の魚荷道を歩く (逗子桜山編)

江戸の人々の台所を支えるため、相模湾で獲れた漁獲物を逗子桜山から牛馬に載せて浦郷榎戸湊(横須賀市)まで陸路で運んだ「魚荷道(うおにみち)」。今回は当時の面影を感じながら、逗子市内の魚荷道を歩きます。
(距離約5.5km、所要時間:約2時間30分)

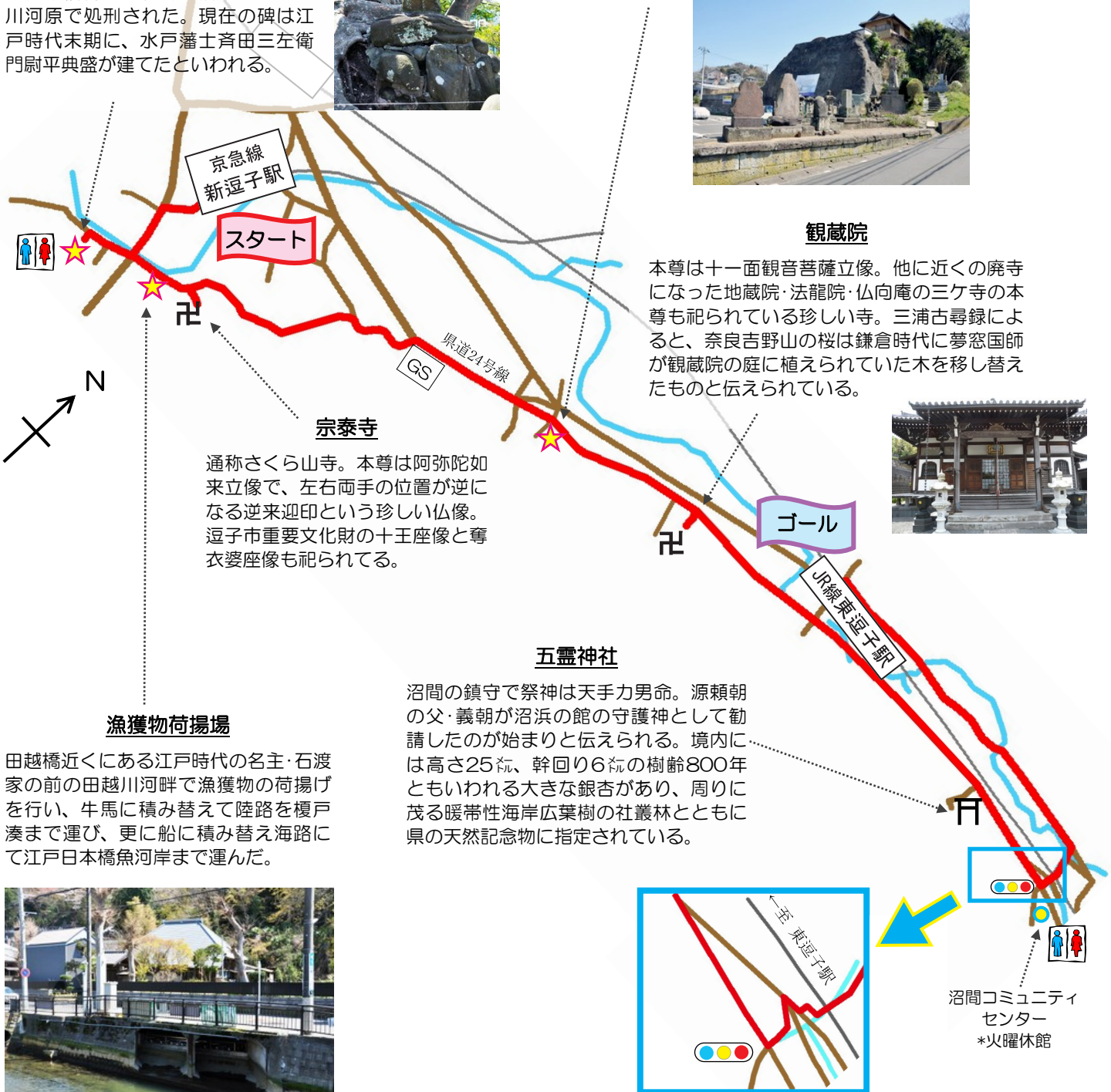
六代御前の墓

平家の公達・六代(実名は平高清)の慰霊碑。壇ノ浦の合戦後、捕えられた六代は神護寺の文覚に助けられたが、源頼朝の死後再び捕えられ田越川河原で処刑された。現在の碑は江戸時代末期に、水戸藩士齊田三左衛門尉平典盛が建てたといわれる。



桜山石塔群と疣(いぼ)地藏

庚申塔や堅牢地神、馬頭観音、疣地藏尊が祀られている塚で、疣地藏は祈願すれば必ず疣が治ると伝えられている。



観蔵院

本尊は十一面観音菩薩立像。他に近くの廃寺になった地藏院・法龍院・仏向庵の三ヶ寺の本尊も祀られている珍しい寺。三浦古尋録によると、奈良吉野山の桜は鎌倉時代に夢窓国師が観蔵院の庭に植えられていた木を移し替えたものと伝えられている。



宗泰寺

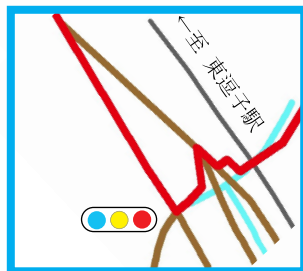
通称さくら山寺。本尊は阿弥陀如来立像で、左右両手の位置が逆になる逆来迎印という珍しい仏像。逗子市重要文化財の十王座像と奪衣婆座像も祀られてる。

五霊神社

沼間の鎮守で祭神は天手力男命。源頼朝の父・義朝が沼浜の館の守護神として勧請したのが始まりと伝えられる。境内には高さ25m、幹回り6mの樹齢800年ともいわれる大きな銀杏があり、周りに茂る暖帯性海岸広葉樹の社叢林とともに県の天然記念物に指定されている。

漁獲物荷揚場

田越橋近くにある江戸時代の名主・石渡家の前の田越川河畔で漁獲物の荷揚げを行い、牛馬に積み替えて陸路を榎戸湊まで運び、更に船に積み替え海路にて江戸日本橋魚河岸まで運んだ。



沼間コミュニティセンター
*火曜休館